

The Expert



平成27年12月10日発行

● 眼科 柴 友明 講師 (平成11年・東邦大学卒)

難治性網膜硝子体疾患に向き合う

平素より地域医療機関の先生方には当院・我々眼科の診療に多大なるご協力を承り感謝申し上げます。当科は2014年度に東邦大学医療センター佐倉病院から堀裕一教授が就任され、私は堀教授の後を追って昨年の12月から東邦大学医療センター大森病院に赴任させていただきました。

自己紹介ですが私は本学を卒業後、本学の卒業生であり、糖尿病網膜症、網膜剥離といった網膜硝子体疾患の世界的名医である竹内忍先生の主宰される東邦大学佐倉病院に入局させていただきました。以来16年間一貫して網膜硝子体疾患の治療・研究に従事してきました。特に糖尿病に起因する重症な増殖糖尿病網膜症や網膜剥離の患者さんに対する網膜硝子体手術を多数執刀させていただき、現在私の臨床における専門分野と自負致しております。現在、網膜硝子体手術の主流は切開創0.9mmの20ゲージシステムから0.5mmの25ゲージ更には0.4mmの27ゲージシステムといったMIVS (micro incision vitreous surgery) へ移行しておりますが、当科も25ゲージ、27ゲージシステムで主に手術を行っておりますが状況によって20ゲージシステムも駆使し、あらゆる網膜硝子体疾患に対応しております。手術は私以下、4名の眼科専門医が行っております。

また私は「眼科領域における睡眠時無呼吸症候群」と「全身動脈硬化性疾患と眼底血流の関連」に興味があり、それがそのまま私の研究テーマになり、大森病院赴任後も継続して行い、眼科医が全身状態の把握に関与する医療提供を目標に日々臨床研究を行っております。

堀教授の専門は角膜・前眼部であり、我々が後眼部(網膜硝子体疾患)の治療に専念することで総合力のある眼球全体を診ることができる眼科を目指しております。また大学病院の使命でもある研究、教育も重視し「目の前の患者さん」を救うことだけでなく、「将来眼科疾患で失明する可能性のある患者さん」を救うことを目標に邁進致します。

是非地域の先生方からの御紹介心よりお待ち申し上げます。



重症糖尿病網膜症に対する27ゲージ硝子体鉗子、20ゲージ硝子体剪刀を用いたコンバイン硝子体手術



硝子体手術風景

● 診療予約

診療のご予約は、下記までご連絡下さい。
診療日・診療時間をご案内いたします。

医療機関専用電話 **パートナー**
03-3762-6616 (直通)

(受付時間 平日 8:30~17:00、土曜 8:30~14:00)
(休診日:第3土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・創立記念日6/10)

● 診療日

柴 友明 講師：木曜日 初診
金曜日 初診



東邦大学医療センター大森病院
Toho University Omori Medical Center
〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1
03-3762-4151 (代表)
<http://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>
発行元：地域医療支援センター